



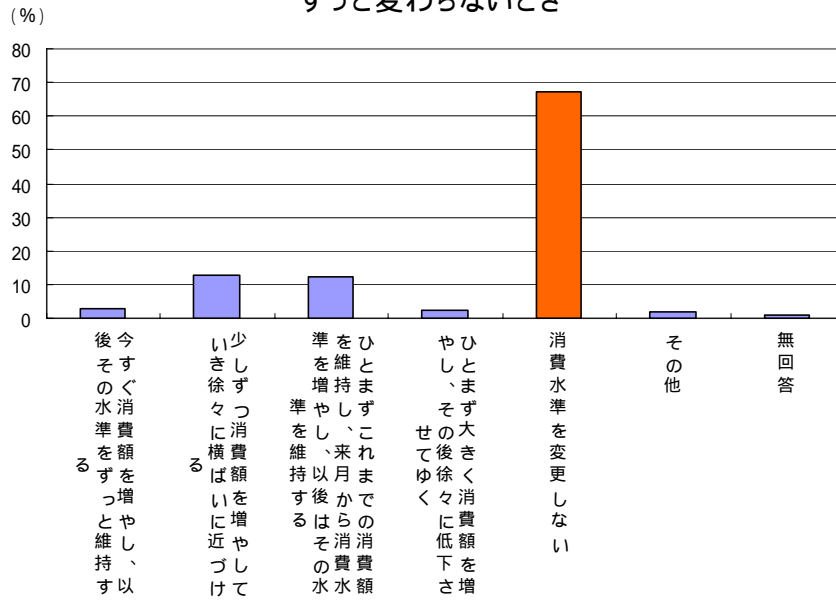
行動経済学研究センターの取り組み



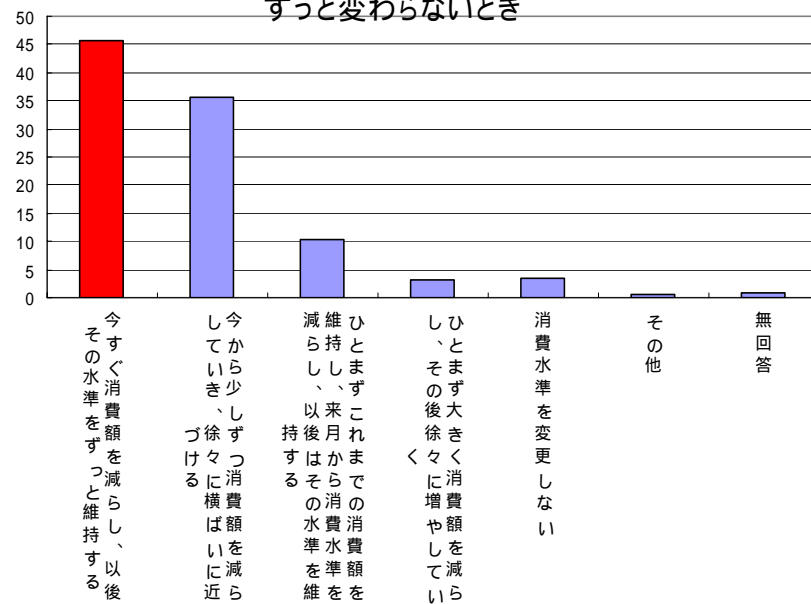
時間選好率と危険回避度などの人々の 効用関数のパラメータ推定

- アンケート調査と実験の実施
- 経済実験の結果 = 池田・大竹の報告
- 初年度6000人を対象としたアンケート調査を5年にわたって実施。
- 今年はアメリカでもアンケート調査を実施
- ミシガン大学キンボール教授と共同研究

現在月収30万円で来月から40万円に上がり、その後ずっと変わらないとき



現在月収30万円で来月から20万円に下がり、その後ずっと変わらないとき





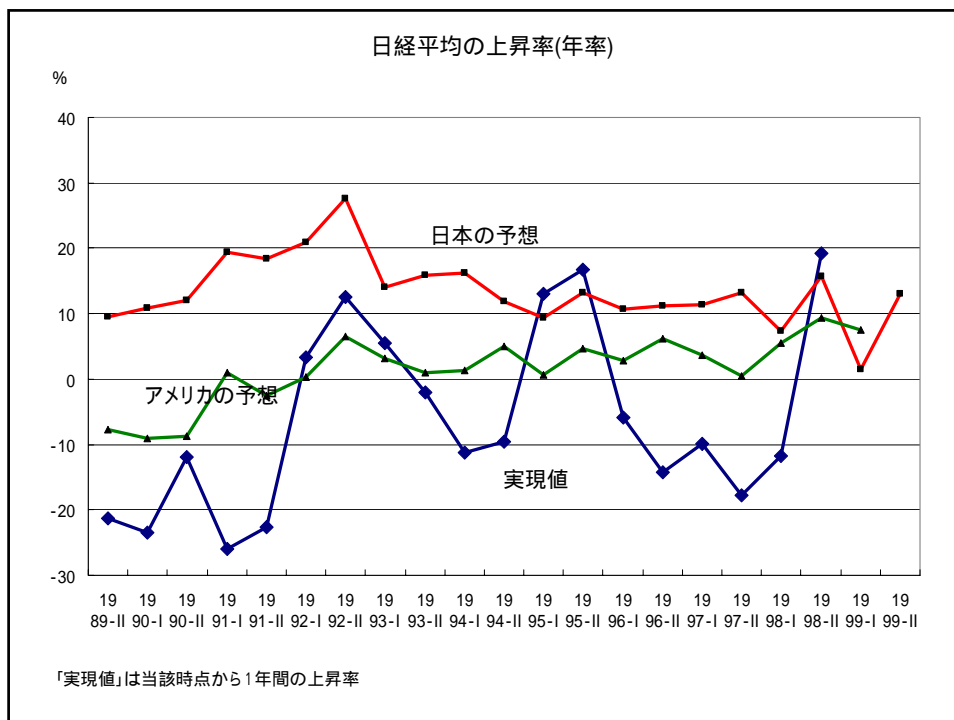
親子調査

- 日本人はなぜ、遺産を残すのか？
- 純粹に子供が幸福なのがうれしいのか？
- 見返りを期待してか？
- 親子ペアにアンケートを実施する予定



株式投資家の意識調査

- 株価予想・投資行動
- バブル崩壊以前から15年間にわたって実施
- 日米共同のアンケート調査
- エール大学のシラー教授との共同研究
- 「日本の投資家は楽観的」などの興味深い事実が分かった



誰がインフルエンザワクチンの接種を受けるか？

- 接種のコスト
- 接種の便益 = インフルエンザ感染に関する主観的確率 = 「私は大丈夫」
- 危険回避度
- 時間選好率 (費用と便益に時間的な差)
- Benzion教授 (イスラエル) との共同アンケートを計画



その他の研究

- CO₂排出権取引の設計の実験
- 公共財供給実験 = 取引相手への敵意
- 不況の理論の実証分析 = 人は金に果てしなき欲望をもつか? = アンケート
- 介護問題 = アンケート
- 人々の情報伝達メカニズム
などなど



開かれたセンター

- 21世紀COEプログラムに採択 = 経済学部をはじめ、大阪大学内のいろいろな部局と協力
- シンポジウム、研究会を通じて、日本の行動経済学研究の拠点を目指す
- 国外の研究者との共同研究により、国際比較研究を進める